

【巻頭言】

「中国・四国支部紀要第8号の発行に寄せて」

松岡 博信

大学英語教育学会中国・四国支部長

JACET 中国・四国支部の紀要が初めて世に出たのは 2004 年 3 月のことである。それ以前は支部独自の紀要がなく、中国・四国支部の会員にとっては本部紀要しか JACET への論文投稿の機会がなかった。東京の本部による中央集権的学会運営の中であって、支部の独自性を出すのは難しかったのである。

そのような状況の中、2002 年度になると支部役員が交代し、沼野治郎先生（元・広島国際学院大学）を支部長、西田正先生（元・広島大学、現・福山大学）を事務局長とする新しい役員体制が発足した。新役員は、何とか支部を活性化しようとする気概に満ちており、この新しい体制がスタートした日こそ、未来に向けて支部の新たな一歩が踏み出された時である。

その気概は、2002 年度第 1 回役員会が支部研究大会（会場：高知工科大学）の前日である 6 月 8 日（土）に高知ホテルで開かれた際、「支部活性化の一環として独自に紀要を発行したらどうか」という提案に具体的な形となって現れた。そして、初代編集委員長は岩井千秋先生（広島市立大学）にお願いし、1 年半後を目途に第 1 号を刊行することになった。岩井先生は他の 4 名の紀要編集委員（堀部秀雄・石川慎一郎・高橋俊章先生および筆者）と密接なネットワークを構築され、大変な編集作業を迅速に、そして緻密にこなしてくださった。おかげで、記念すべき第 1 号は他の学会の紀要に引けを取らない素晴らしいものとなった。それから岩井先生には 4 号までの長期に渡って重責を担っていただいた。その後、編集長の職務は、5 号と 6 号が前田啓朗先生（広島大学）、7 号からは角山照彦先生（広島国際大学）に引き継がれ、この 8 号に至っている。委員長の紀要編集に関わる作業が実に膨大な時間と労力を要することは説明するまでもない。3 人の先生方には心より感謝の意を表したい。

また、紀要の発行に関しては、査読委員の先生方にも大変お世話になっている。編集委員だけでは手が足らず、他の先生方にも査読をお願いすることが多い。JACET 中国・四国支部に論文を投稿してくださった方々は既にご存じだと思われるが、査読委員の先生方は論文を細緻に渡るまで読んでくださり、具体的な批評や修正意見を懇切丁寧に記して返して下さる。この査読結果が次なる論文作成のために大変勉強になると言ってくれる投稿者も多い。益々忙しくなる公務の中であって、投稿論文査読に貴重な時間を割いていただいた先生方にも深く感謝したい。

このように、JACET 中国・四国支部の紀要発行が 2004 年から現在まで途切れることなく続いているのは、学術論文・実践報告・委嘱論文などを寄稿して下さる支部会員の皆様と編集長・編集委員および査読委員の方々のお陰であることに感謝しつつ、今後部数を重ねるごとに、質・量共にさらに充実した紀要となることを祈念する。